熊本県立高校魅力化のための情報発信業務仕様書

1 委託業務名

熊本県立高校魅力化のための情報発信業務

2 目的

県立高校全 50 校の魅力や入学者選抜（高校入試）に関する情報について、主に中学 2 年生やその保護者に対してわかりやすく伝えるパンフレットを制作し、県立高校への入学希望者の増加を図る。

3 契約期間

契約締結日から令和 8 年（2026 年）3 月 31 日（火）まで

4 業務内容

(1) パンフレット制作等（中学生 2 年生配布）

県立高校 50 校（47 校及び 3 分校）を紹介するパンフレット制作等を行う。

また、県が指定する部数に仕分けし、県内 192 か所に「6 成果品」のとおり配送を行う。

【規格】

サイズ等：A4 中綴じ、全ページカラー印刷

紙 質：コート 90k

ページ数：36 ページ（表紙・裏表紙含む。）

ア 全体企画、イラスト作成、取材、原稿作成、レイアウト、編集及び校正などのパンフレット制作に必要な作業の実施。

イ 学校情報等は各校パンフレット、HP 及び学校への聞き取り等により情報収集を行い作成すること。なお、高校魅力化推進室から適宜情報提供を行う。

ウ 使用する写真等の画像データは、高校魅力化推進室及び各学校から提供するものを使用するとともに、必要に応じて各学校の PR ポイント等の写真を撮影すること。また、教育長挨拶ページに掲載する写真は新たに撮影したものを使用すること。

エ メインターゲットである中学生を意識したデザイン・内容とする。詳細は県と協議の上決定する。

※デザインについては、令和 6 年度作成パンフレットを踏襲する形でも可とする。

(https://www.pref.kumamoto.jp/uploaded/life/226131_632872_misc.pdf)

オ デザインには県の PR キャラクター「くまモン」を使用すること。

カ その他、本仕様書に定めがないものについては、別途、県と協議の上決定する。

5 パンフレットの構成

ページ	項目	備考
1	表紙	タイトルは「熊本県立高校全 50 校徹底ガイド 2026」を基本とするが、変更可。 デザインは、特に中学生の目を引きつけ、手に取りたくなるものとする。
2	目次 県立高校の魅力	知りたい情報にたどり着きやすいデザインにすること。 県立高校の魅力を数項目で紹介。
3	教育長あいさつ	熊本県教育長の顔写真及びあいさつ文。
4	スクール・ミッション及び スクール・ポリシー	スクール・ミッション及びスクール・ポリシーについての説明。
5	課程・学科コースの説明	課程（全日制、定時制、通信制）の説明。 学科・コース（普通科、専門教育を主とする学科、総合学科）の説明。
6～8	熊本スーパーハイスクール (KSH) 構想について	熊本スーパーハイスクール (KSH) 構想に関するイメージ図。
9	熊本県立高校検索ガイド、 SNS の説明	「熊本県立高校検索ガイド」(HP)、各種 SNS の紹介。 雑誌広告・ポスター等をイメージした 1 枚ものデザインとする。
10～23	各学校ページ	全高校の基本情報（住所、電話番号、学科等）、各高校 HP の QR コード等。 1 ページ当たり 3～4 校程度掲載。
24～29	特集ページ	特色ある学びや企業と連携した学校の取り組みなど中学生や保護者が注目するような事柄に関する特集記事を掲載。 取材を行った上で作成すること。
30～31	部活動	特色ある部活動に関する特集ページを、雑誌の特集のようなスタイルで紹介。
32～33	学びの祭典について	今年度の様子を紹介。 ページは雑誌広告・ポスター等をイメージした両面 1 枚ものデザインとする。
34	入試情報ページ	【主な日程】 前期（特色）選抜及び後期（一般）選抜等の出願期間や実施日等のスケジュールを紹介。
35	//	【入学者選抜のよくある質問】 よくある質問を Q&A の形式で掲載。
36	裏表紙	各学校の位置図、各種 SNS 等の QR コード、問合せ先等

※掲載項目、ページ配分及び順序等は県と協議の上、適宜変更できるものとする。

6 成果品

(1) パンフレット制作等

ア 部数：20,000部（中学2年生分及び関係者用）

県が指定する部数に仕分けし、県内192か所に発送すること。

イ 印刷用版下データ及び収集した画像データ：CD-R 1枚（AI形式及びJPEG形式）

7 納期

(1) パンフレット制作等

令和8年（2026年）2月27日（金）

※熊本県内中学校への配付も令和8年（2026年）2月27日（金）までに実施

8 納品場所

熊本県教育庁県立学校教育局高校教育課高校魅力化推進室

〒862-8609 熊本市中央区水前寺六丁目18番1号 ※県庁新館8階

9 その他

- (1) 当業務委託契約により作成された成果品、契約の遂行過程で生じた全ての著作権は、全て委託者に帰属するものとし、受託者は、当該著作権に係る行為について著作者人格権を行使しないこととする。
- (2) 本業務の実施に当たって、委託者又は第三者に損害を及ぼしたときは、委託者の責任に帰する場合のほかは、受託者がその賠償の責任を負うものとする。
- (3) 他者の所有権、著作権、肖像権をはじめとする権利を侵すものでないこと。
- (4) 本業務が終了するまでの間、その進捗状況の報告、仕様及び作業の確認、問題点の協議・解決その他本業務が円滑に遂行できるよう必要な事項を協議するため、必要に応じて随時打合せを実施するものとする。
- (5) 受託者はその専門的な立場から、契約金額の範囲内で積極的な提案を行うこと。
- (6) 受託者は、本仕様書の疑義、変更及び本仕様書に定めのない事項が生じた場合、又は著しく変更があった場合は、委託者に確認を行い、信義誠実の原則に従い、両者協議の上、円満に解決を図るものとする。